

25 | 保存について

25.1	ネットワークプロジェクトの保存	25-2
25.2	参加局とシンボル情報のインポート / エクスポート	25-7

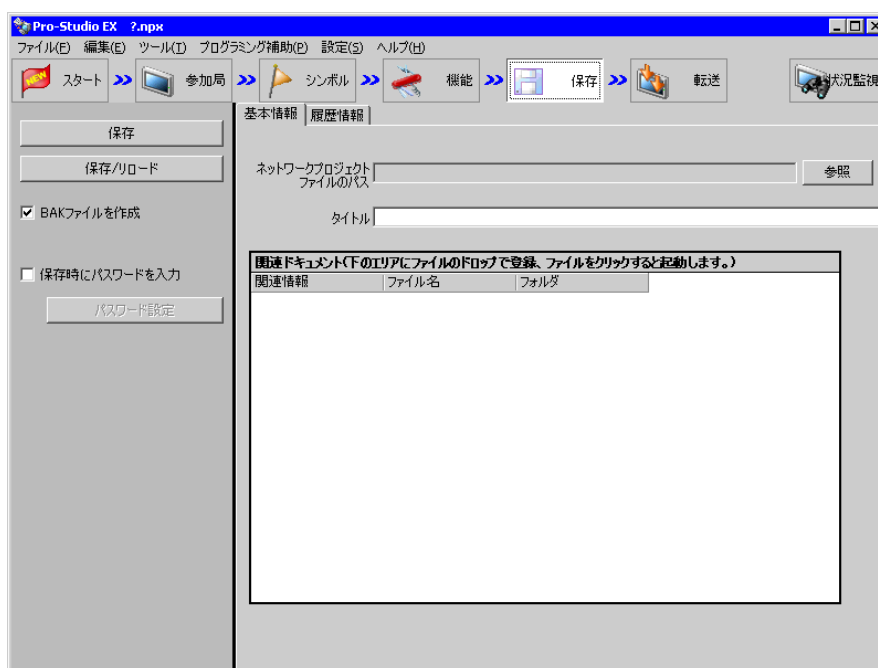
25.1 ネットワークプロジェクトの保存

参加局、シンボル、機能の設定が終わったら、それらの設定データを「ネットワークプロジェクトファイル」として保存します。

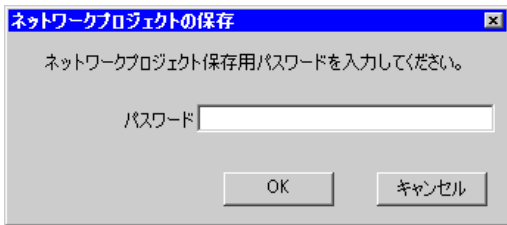
『Pro-Server EX』は、このネットワークプロジェクトファイルを読み込み（リロード）各アクションを実行します。

そのため、『Pro-Studio EX』で設定したデータは必ずネットワークプロジェクトファイルとして保存し、リロードを行う必要があります。

[基本情報] タブ

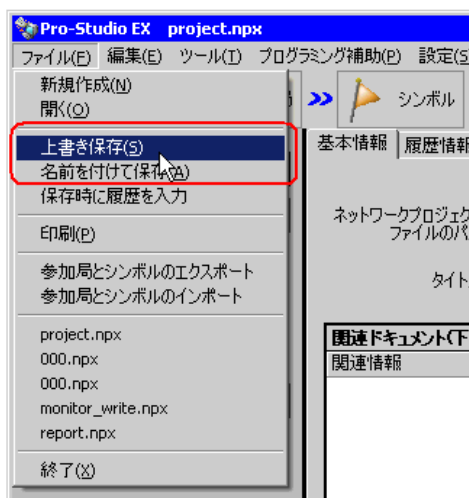


設定項目	設定内容
保存	<p>ネットワークプロジェクトファイルを保存します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存のネットワークプロジェクトファイルの内容を上書きする場合、上書き確認のメッセージは表示されません。
保存 / リロード	<p>ネットワークプロジェクトファイルを保存したあと、リロードします。</p> <p>リロードは、『Pro-Server EX』にネットワークプロジェクトファイルを読み込ませます。『Pro-Server EX』はそのネットワークプロジェクトファイルに沿った動作を行います。</p>

設定項目	設定内容
Bak ファイルを作成	<p>ネットワークプロジェクトファイルのバックアップファイルを作成する場合にチェックします。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップファイルは、ネットワークプロジェクトファイルと同じ場所に「*.npx.bak」として作成されます。 バックアップファイルの編集は可能ですが、保存することはできません。保存する場合は、拡張子を変えて別名で保存してください。
保存時にパスワードを入力	<p>ネットワークプロジェクトファイルの保存時に、パスワードの入力を求める場合にチェックします。 この設定を有効にすると、ネットワークプロジェクトファイルの保存時に、下記のパスワード入力画面が表示されます。</p>  <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ上、不正なネットワークプロジェクトファイルの書き換えを防止します。
パスワード設定	<p>「パスワードの設定」画面が表示されます。 この画面で、パスワードの新規設定や変更を行います。 詳細については、「 「パスワードの設定」画面 」をご覧ください。</p>
ネットワークプロジェクトファイルのパス	<p>ネットワークプロジェクトファイルの保存先およびファイル名を設定します。 [参照] ボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」画面が表示されます。保存先およびファイル名を指定して、[保存] ボタンからネットワークプロジェクトファイルを保存することができます。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークプロジェクトファイルの保存先およびファイル名に ; (セミコロン) を含めることはできません。
タイトル	<p>ネットワークプロジェクトファイルのタイトルを入力します。</p>
関連ドキュメント	<p>保存するネットワークプロジェクトファイルに、関連した任意のドキュメントのファイルを登録できます。 登録するファイルをこの欄にドラッグ＆ドロップするとファイル名とフォルダ名が登録されますので、[関連情報] 欄をクリックし、関連情報（コメント）を入力します。 ファイル名をクリックすると、ファイルが開きます。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連ドキュメントは、ファイルパスで管理しています。登録後にファイルを移動させた場合は、再度登録する必要があります。 ドキュメントは追加のみで、編集や削除することはできません。

MEMO

- ネットワークプロジェクトファイルの保存は、メニューバーの [ファイル] から、[上書き保存] または [名前を付けて保存] で行うこともできます。



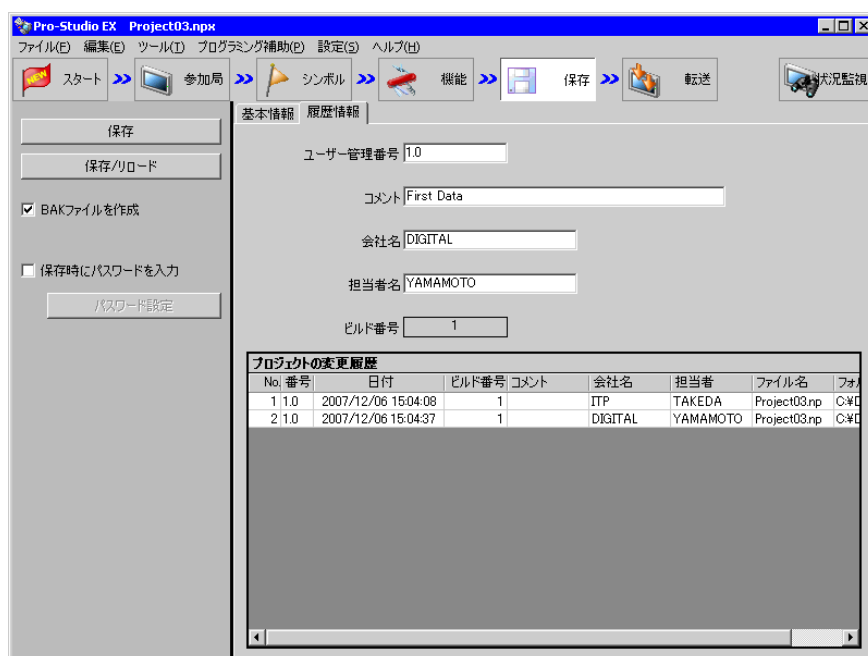
このとき、ファイルメニューまたは以下のダイアログの [保存時に履歴を入力] がチェックされている場合は、ファイルメニューから保存するたびに「ファイル関連情報の登録」画面が表示されます。

この画面の内容は、次項の [履歴情報] タブの内容と同じです。

必要な内容を設定し、[登録] ボタンをクリックするとファイルが保存されます。

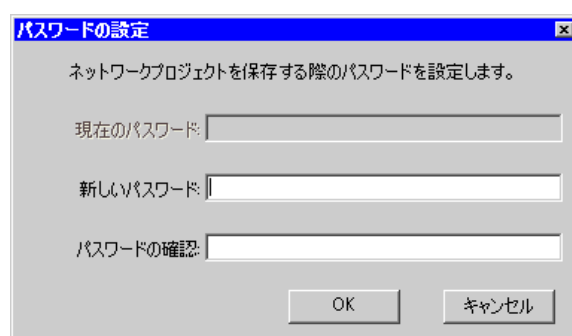
この画面の [保存時に履歴を入力] チェックボックスでも、メニューからの保存時に「ファイル関連情報の登録」画面を表示させるかどうかを選択できます。

[履歴情報] タブ



設定項目	設定内容
ユーザー管理番号	<p>任意の管理番号（バージョンなど）を入力します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザー管理番号は、ネットワークプロジェクトファイルをユーザーが任意でバージョン管理するための番号です。バージョンアップやダウンの自動管理は行いません。
コメント	履歴についてのコメントを入力します。
会社名	<p>会社名を入力します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルトは、OS のインストール時に登録した会社名が表示されます。
担当者名	<p>担当者名を入力します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルトは、OS のインストール時に登録したユーザー名が表示されます。
ビルド番号	<p>ネットワークプロジェクトファイルで自動的に設定される番号です。ネットワークプロジェクトファイルの内容を変更して保存するごとに 1 カウントずつアップします。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ビルド番号は、1 ～ 2147483646 の範囲でループします。
プロジェクトの変更履歴	ネットワークプロジェクトファイルの情報の変更履歴が表示されます。ユーザー管理番号、コメント、会社名、担当者名、ファイル名およびフォルダのいずれか 1 つでも変更された場合に履歴が追加されます。

「パスワードの設定」画面



パスワードの設定

ネットワークプロジェクトを保存する際のパスワードを設定します。

現在のパスワード:

新しいパスワード:

パスワードの確認:

OK キャンセル

設定項目	設定内容
現在のパスワード	現在設定されているパスワードを「*****」で表示します。
新しいパスワード	新規に設定、または変更するパスワードを入力します。 MEMO • 空白を設定すると、パスワード機能は無効になります。
パスワードの確認	入力確認のため、[新しいパスワード] と同じパスワードを入力します。

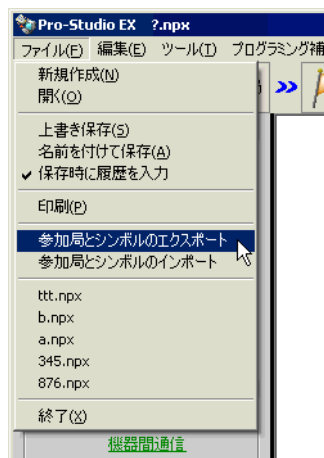
25.2 参加局とシンボル情報のインポート / エクスポート

参加局とシンボル情報を csv 形式でインポート / エクスポートすることができます。

CSV 形式でエクスポートするため、Excel で読み込んで保存することができます。シンボルを数多く編集する場合や、参加局とシンボル情報を一覧で確認したい場合などに便利です。

操作手順は、[ファイル] メニューから [参加局とシンボルのエクスポート] をクリックすると、CSV 形式で参加局とシンボル情報を出力することができます。

また、編集した CSV ファイルをインポートするには、[ファイル] メニューから [参加局とシンボルのインポート] をクリックし、該当する CSV ファイルを指定することで取り込むことができます。



以下のような形式で出力されます。

	A	B	C	D
1	<NPX>	Format4	ProjectID 1173922567	Version 5.2.0
2				
3	<GlobalDefinition>	定数名	値	コメント
4		Global1		100 Comment1
5		Global2		200 Comment2
6				
7	<NodeProperty>	局名	IPアドレス	サブネットマスク
8		PC1	172.21.3.167	0.0.0.0
9				
10	<NodeProperty>	局名	IPアドレス	サブネットマスク
11		AGP1	172.21.3.168	0.0.0.0
12	<ConnectDriver>	メーカー名	機器の種類	ポートの種類
13		三菱電機(株)	A シリーズ CPU 直結	COM
14	<ConnectPLC>	機器名	モデル	機器設定の概要
15		PLC1		0 シリーズ=AnAシリーズ
16				
17				
18	<SymbolSheet>	シンボルシート名	シンボルの種類(Global/Local)	参加局名
19		Sheet1	Local	PC1
20	<Symbol>	属性(Begin/End/Symbol)	シンボル名	データ型(1~12)
21				

- MEMO**
- GP4000/LT4000 シリーズ局を使用している場合、参加局の種類は「GP4000 シリーズ」で出力されます。
 - インポートできない場合は、「 CSV 形式のフォーマットについて 」をご覧ください。

CSV 形式のフォーマットについて

「参加局とシンボルのエクスポート」を実行すると、以下のような形式の CSV（カンマ区切り）ファイルが書き出されます。

MEMO

- 『Pro-Studio EX』の旧バージョン（V1.22 以前）のフォーマットから変更になっています。旧バージョンでエクスポートした CSV 形式のファイルをインポートする場合は、以下を参考に CSV ファイルを修正してください。

ネットワークプロジェクト（NPX）情報				参加局と接続機器情報	
				グローバル定数情報	
1	<NPX>	Format4	ProjectID 1173922567	Version 5.2.0	
2					
3	<GlobalDefinition>	定数名	値	コメント	
4		Global1	100	Comment1	
5		Global2	200	Comment2	
6					
7	<NodeProperty>	局名	IPアドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ
8		PC1	172.21.3.167	0.0.0.0	0.0.0.0
9					
10	<NodeProperty>	局名	IPアドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ
11		AGP1	172.21.3.168	0.0.0.0	0.0.0.0
12	<ConnectDriver>	メーカー名	機器の種類	ポートの種類	ポート番号
13		三菱電機(株)	A シリーズ CPU 直結	COM	
14	<ConnectPLC>	機器名	モデル	機器設定の概要	機器設定情報
15		PLC1	0 シリーズ=AnAシリーズ	[mode]##nmode=0	
16					
17					
18	<SymbolSheet>	シンボルシート名	シンボルの種類(Global/Local)	参加局名	接続機器名
19		Sheet1	Local	PC1	#INTERNAL
20	<Symbol>	属性(Begin/End/Symbol)	シンボル名	データ型(1~12)	連続もしくはビット指定(+/-0~63)
21					デバイスアドレス
22	<SymbolSheet>	シンボルシート名	シンボルの種類(Global/Local)	参加局名	接続機器名
23		Sheet2	Local	AGP1	#INTERNAL
24	<Symbol>	属性(Begin/End/Symbol)	シンボル名	データ型(1~12)	連続もしくはビット指定(+/-0~63)
25					デバイスアドレス
26	<SymbolSheet>	シンボルシート名	シンボルの種類(Global/Local)	参加局名	接続機器名
27		Sheet3	Local	AGP1	PLC1
28	<Symbol>	属性(Begin/End/Symbol)	シンボル名	データ型(1~12)	連続もしくはビット指定(+/-0~63)
29		Symbol	読み出し開始	1 ビット	M0001
30					

シンボル情報